

『第1回SSH理系女子育成プログラム及び第1回SSH校外学習プログラム』を開催しました

7月29日(月)、八戸工業大学において、同大学工学部工学科生命環境科学コース 教授 鮎川 恵理氏、並びに教授 藤田 敏明氏、建築・土木工学コース 准教授 福士 譲氏、システム 情報工学コース 教授 伊藤 智也氏を講師としてお迎えして、第1回SSH理系女子育成プログラム及び第1回SSH校外学習プログラムを実施いたしました。このSSH理系女子育成プログラムは、SSH指定Ⅱ期目を迎えた本校の新しい事業で、年4回のプログラムが悉皆となるのに対し、SSH校外学習プログラムは理系女子育成プログラム参加者以外を対象とした事業で、その都度希望者を募りながら実施します。なお、両者は同じ内容を合同で実施することになります。

今回、鮎川先生には「どうやって選ぶ？一理系の学部や仕事ー」という演題で、理系学部の幅広い分野の紹介と理系女子のロールキャリアモデルの紹介をしていただきました。その後、2グループに別れ、午前は本校40回生である福士先生から「建築はどうでしょう？～幾何学と身体性の間で～」、鮎川先生から「コケですけど、何か？～コケの生物学をキャンパス内で～」というテーマで、午後も2グループに別れ、本校43回生である伊藤先生から「データサイエンス入門：データの可視化と分析～情報Ⅰで習った内容を実習で確かめよう～」、藤田先生から「お酒を飲まずに酒豪を探せ！～飲めるゲノムを判別する方法～」というテーマで、実験・実習を指導していただきました。

生徒からは、「自分が好きなことを続けていくことが大切だ」、「建築士がどのような仕事をしているのか分からなかったが、深く話を聞いたことで、建築の仕事に更なる魅力を感じた」、「はじめて電気泳動法の器具をみることができ、詳細な説明を聞くことができました」、「普段足元で全部同じに見えていたコケも観察して見ると種類によって細胞の形が違うのが面白かった」、「お酒を飲んでいる時の様子がゲノムと関係していると思うと面白い」等の感想が寄せられ、充実した時間を過ごして様子が窺われました。

○講演の様子

